

多面的な評価に関する考察 —教育格差の観点から—

大学入学者選抜における多面的な評価の在り方に関する協力者会議

令和2年7月17日

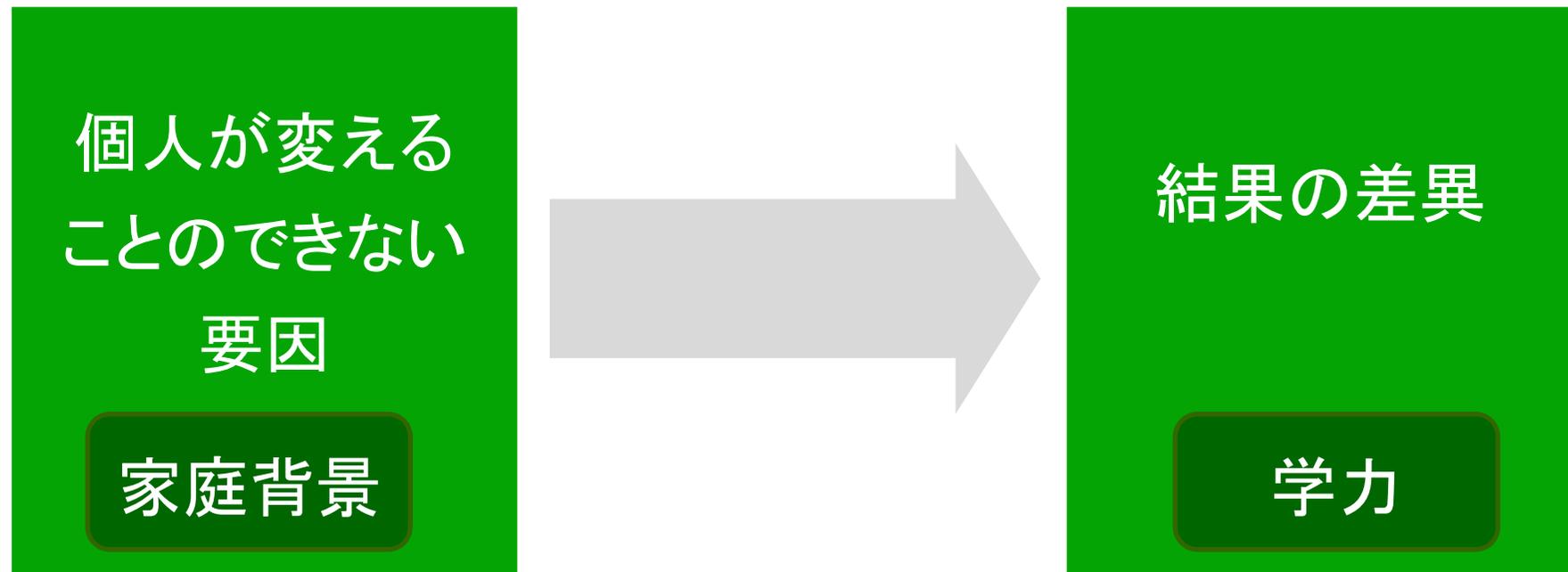
武蔵大学社会学部

垂見 裕子

アウトライン

- 家庭背景と学力の関連
- 家庭背景と多面的な評価
 - 家庭背景と習い事の経験の関連
 - 家庭背景と親の意識の関連
 - 家庭背景と意欲の関連
- 家庭の経済的な条件等に左右されず
等しく「多面的評価の機会」を得るために

学力格差とは



全国学力・学習状況調査 「保護者調査」の概要

全国学力・学習状況調査

- 悉皆調査、小6・中3を対象に実施
- 学力調査(国語・算数／数学・(理科・英語))、生徒質問紙・学校質問紙

保護者調査

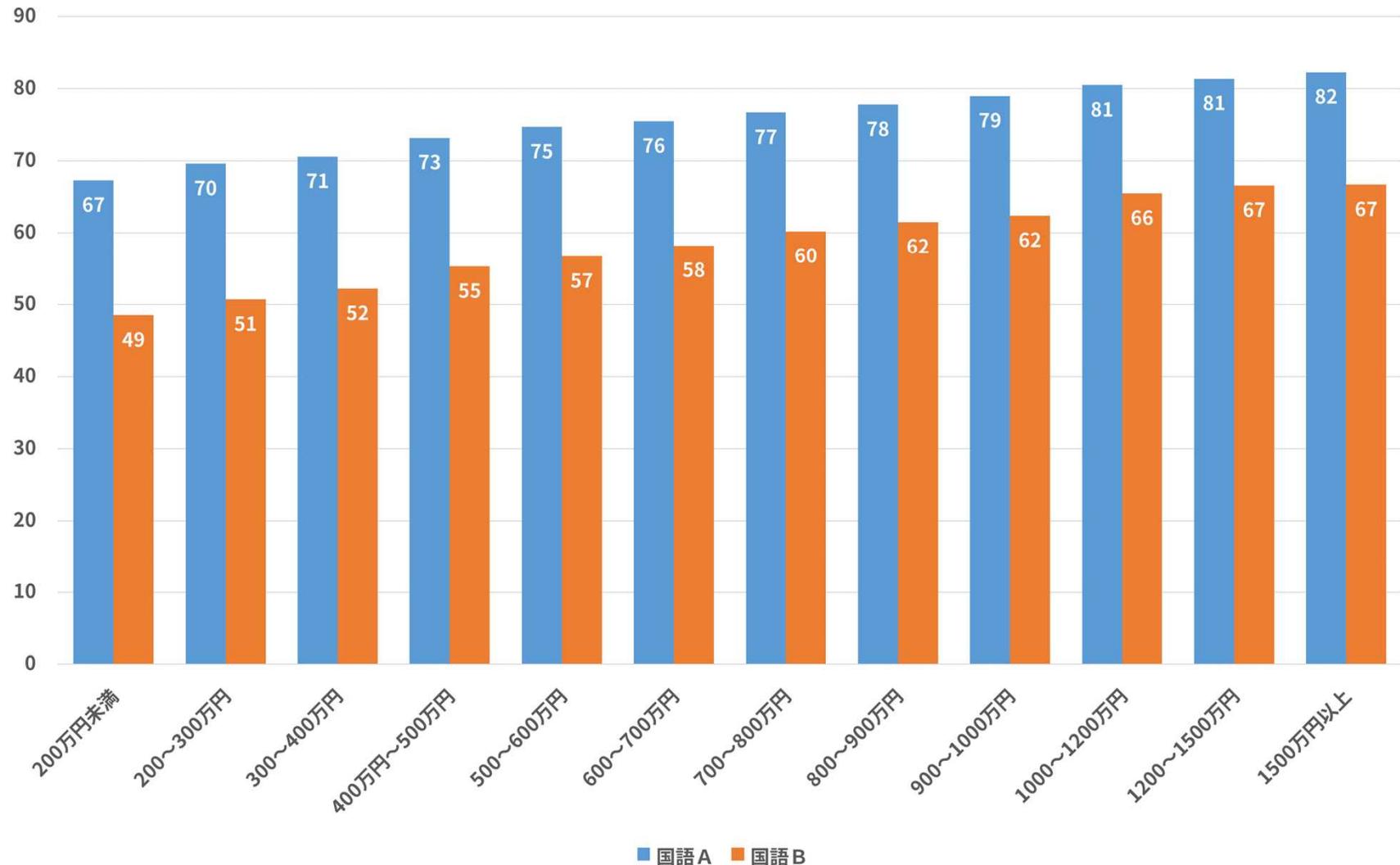
- 平成25年度、平成29年度に抽出調査(公立校)で実施
- 本体調査を実施した児童生徒の保護者
- 保護者の社会経済的背景、保護者の子供への接し方、子供の教育に対する考え方、教育費等
- ウェイトづけ:全国レベルでの推定を可能としている

平成29年度回収率

	保護者			学校		
	対象数	有効回収数	回収率(%)	対象数	有効回収数	回収率(%)
小学校	60,167	55,167	91.7	1,186	1,153	97.2
中学校	77,491	67,309	86.9	799	692	86.6

家庭背景と学力の関連

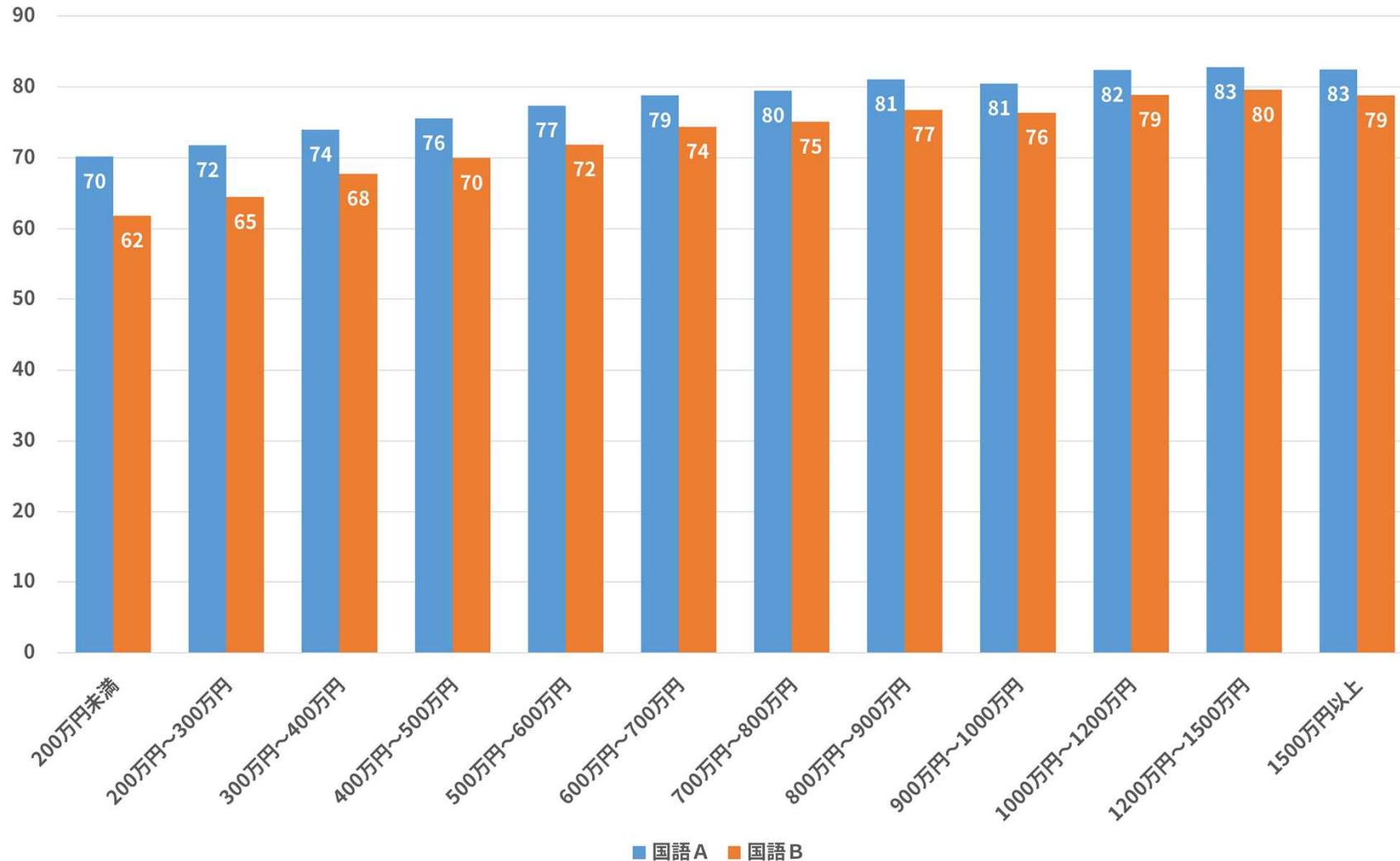
学力（国語）と家庭の所得の関連（小6）



出典：お茶の水女子大学「平成29年度学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」（2018年3月）

家庭背景と学力の関連

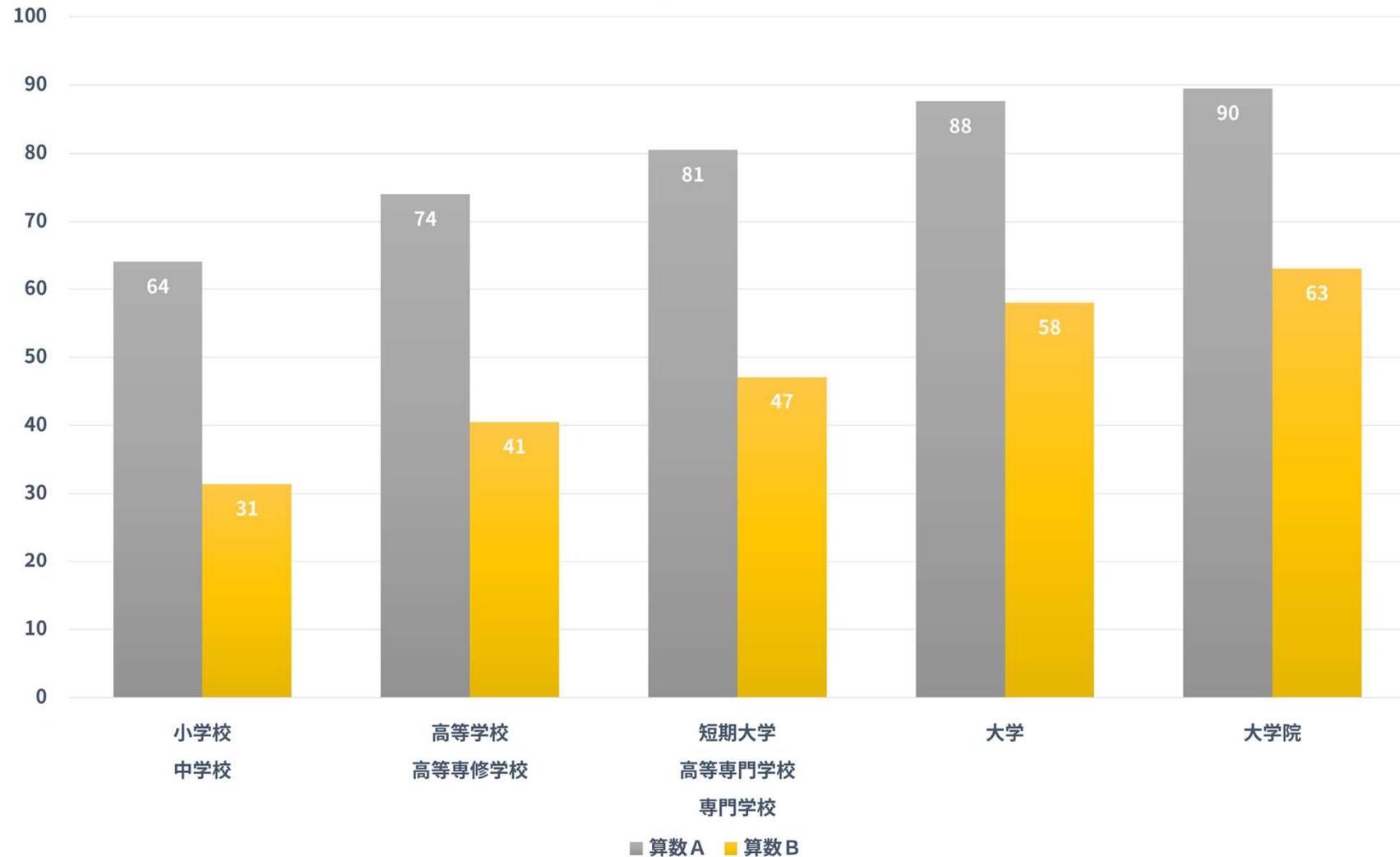
学力（国語）と所得の関連（中3）



出典:お茶の水女子大学「平成29年度学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」(2018年3月)

家庭背景と学力の関連

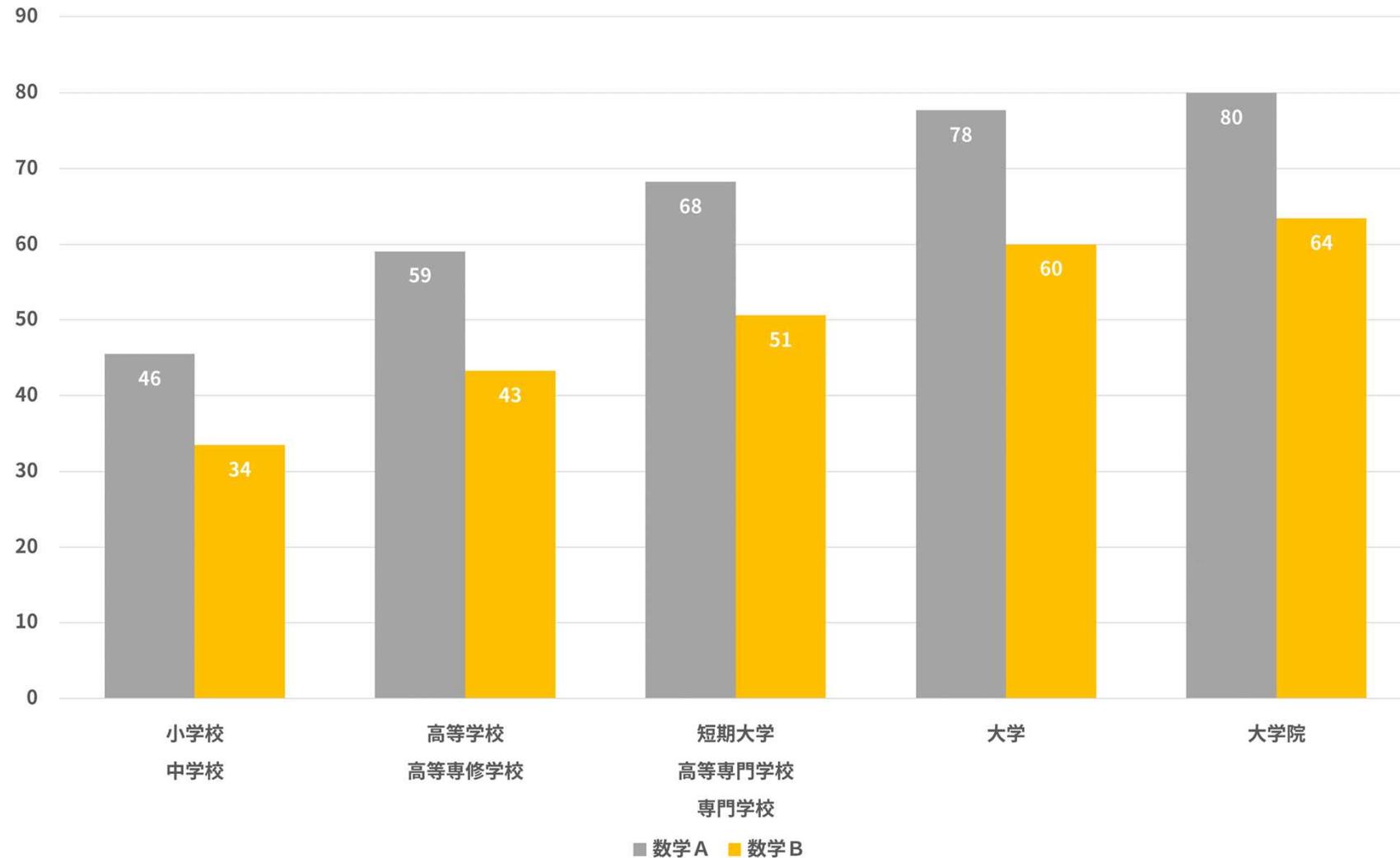
学力（算数）と母親学歴の関連（小6）



出典:お茶の水女子大学「平成29年度学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」(2018年3月)

家庭背景と学力の関連

学力（数学）と母親学歴の関連（中3）



出典:お茶の水女子大学「平成29年度学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」(2018年3月)

SES (Socio-Economic Status)

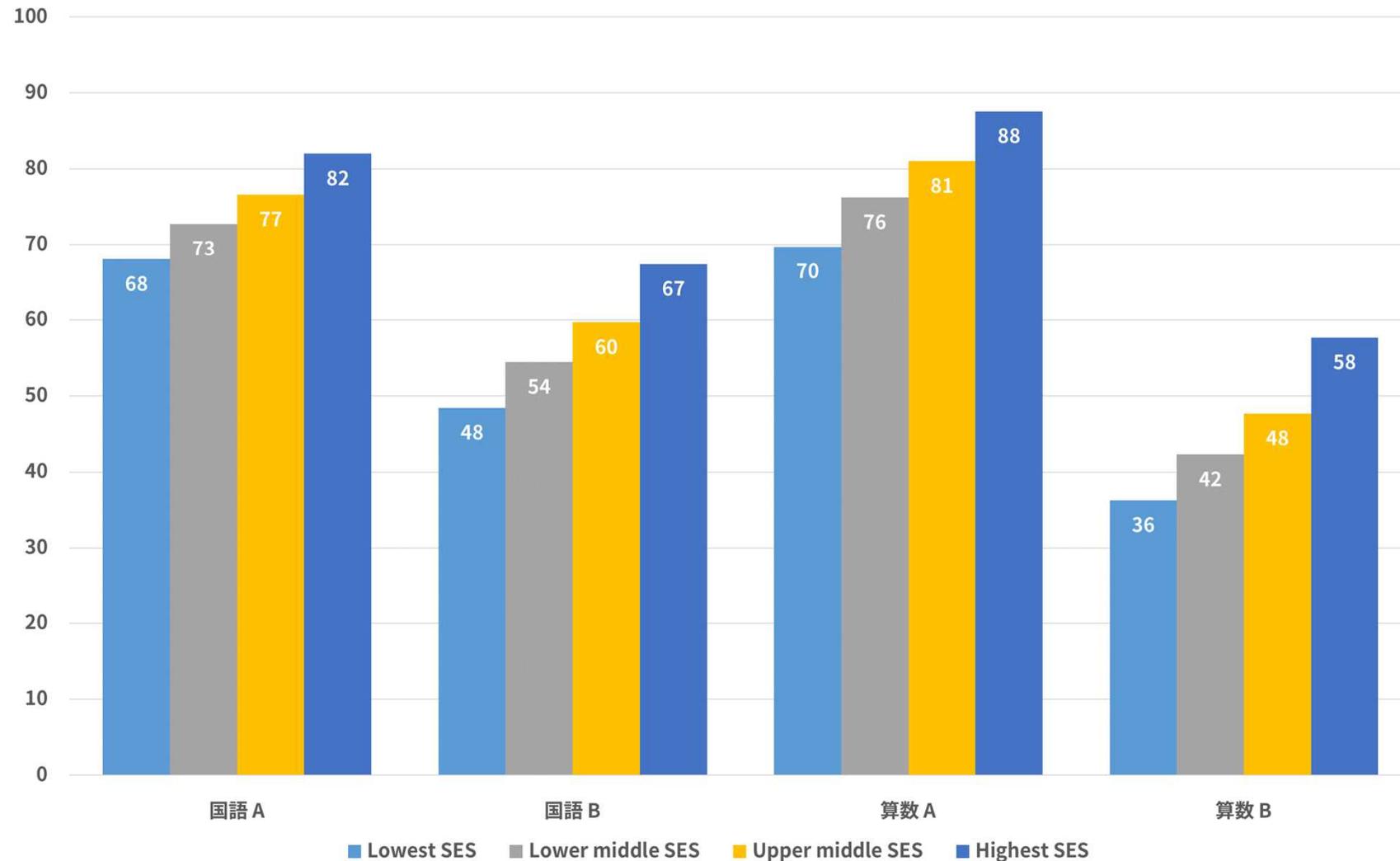
- SES(Socio-Economic Status)
 - 家庭の社会経済的背景
 - 家庭の所得、父親学歴、母親学歴の3つの変数を合成し、得点化した指標
 - 合成したスコアを4等分(第1四分位をLowest SES～第4分位をHighest SES)

生徒の家庭の社会経済的背景(SES)のグループ別記述統計(中3)

家庭の社会経済的背景 (SES)	家庭収入		父親学歴(年数)		母親学歴(年数)	
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
Lowest SES	3,544,766	1,479,358	11.27	1.47	11.58	1.18
Lower middle SES	5,324,631	2,024,864	12.46	1.16	12.85	1.05
Upper middle SES	6,827,895	2,289,505	14.01	1.72	13.55	1.12
Highest SES	9,395,954	2,860,041	15.88	1.2	14.82	1.23
全国平均	6,314,228	3,058,243	13.58	2.19	13.23	1.62

家庭背景と学力の関連

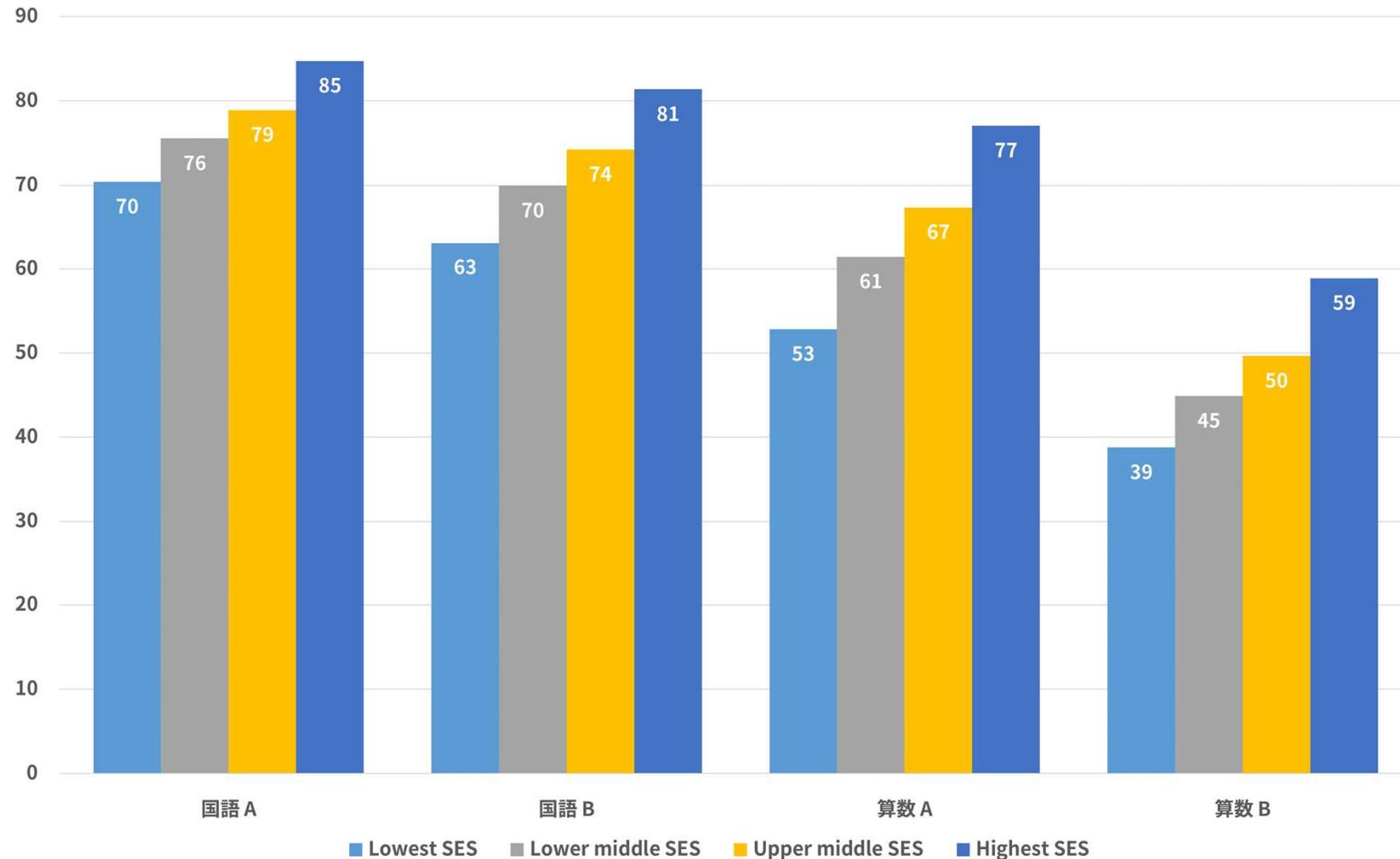
学力（全教科）とSES（家庭背景）の関連（小6）



出典:お茶の水女子大学「平成29年度学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」(2018年3月)

家庭背景と学力の関連

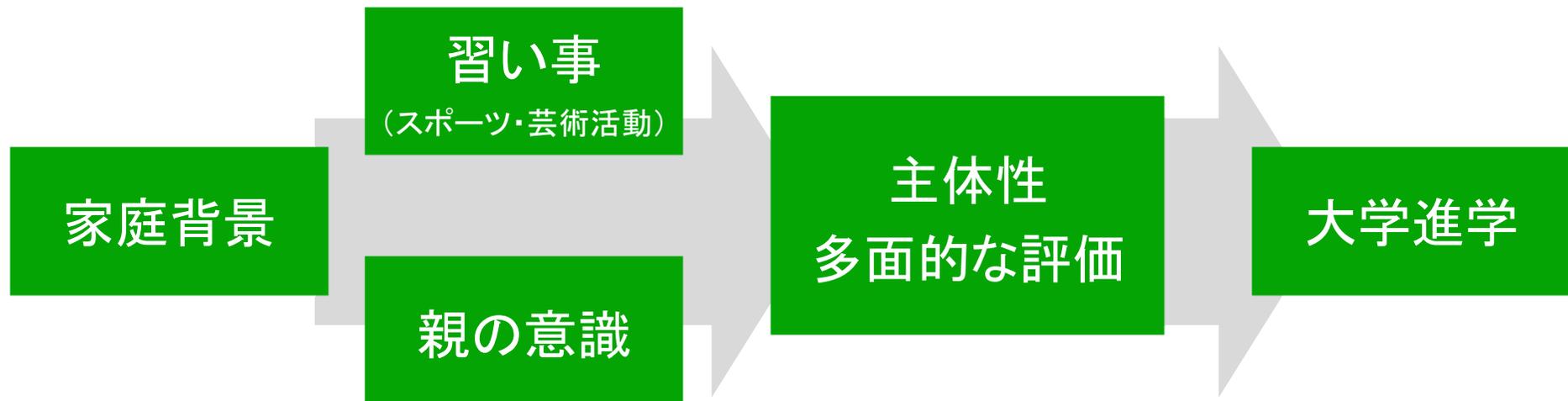
学力（全教科）とSES（家庭背景）の関連（中3）



出典:お茶の水女子大学「平成29年度学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」(2018年3月)

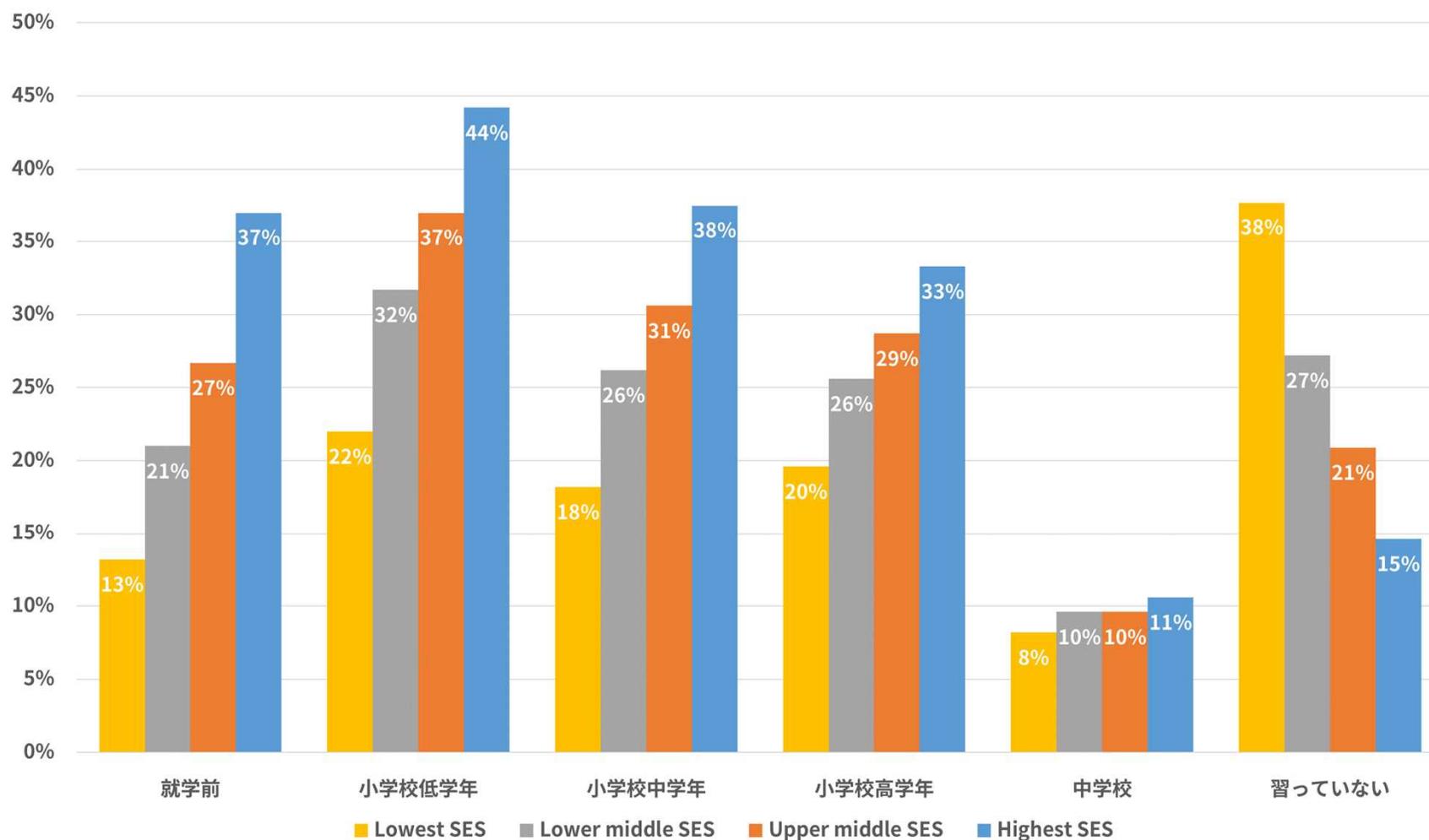
教育格差とは

個人が変えることのできない要因による教育の結果や機会の差異



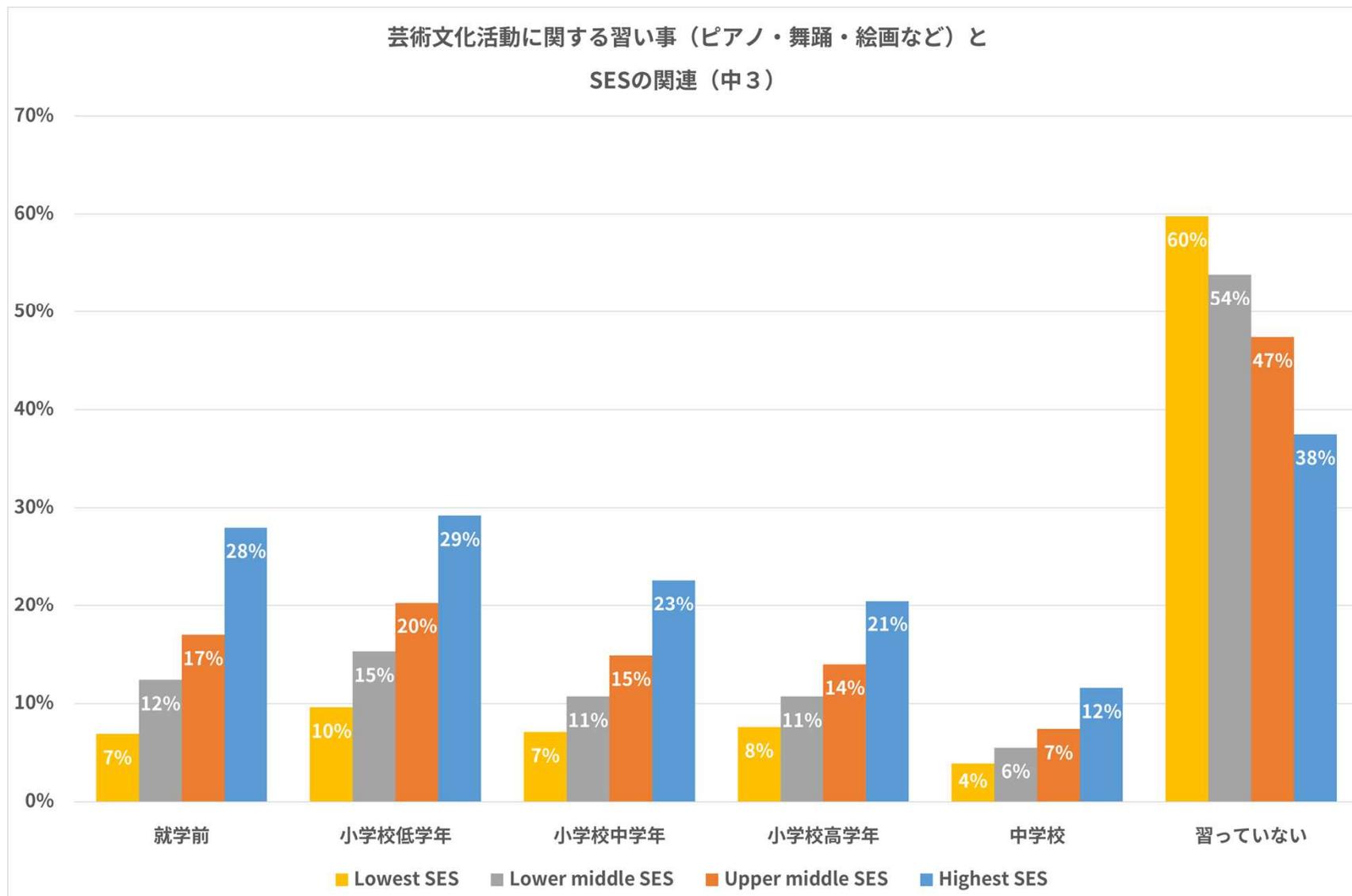
家庭背景と習い事の経験の関連

スポーツ活動に関する習い事（水泳・野球・サッカーなど）と
SESの関連（中3）



出典：お茶の水女子大学「平成29年度学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」（2018年3月）

家庭背景と習い事の経験の関連

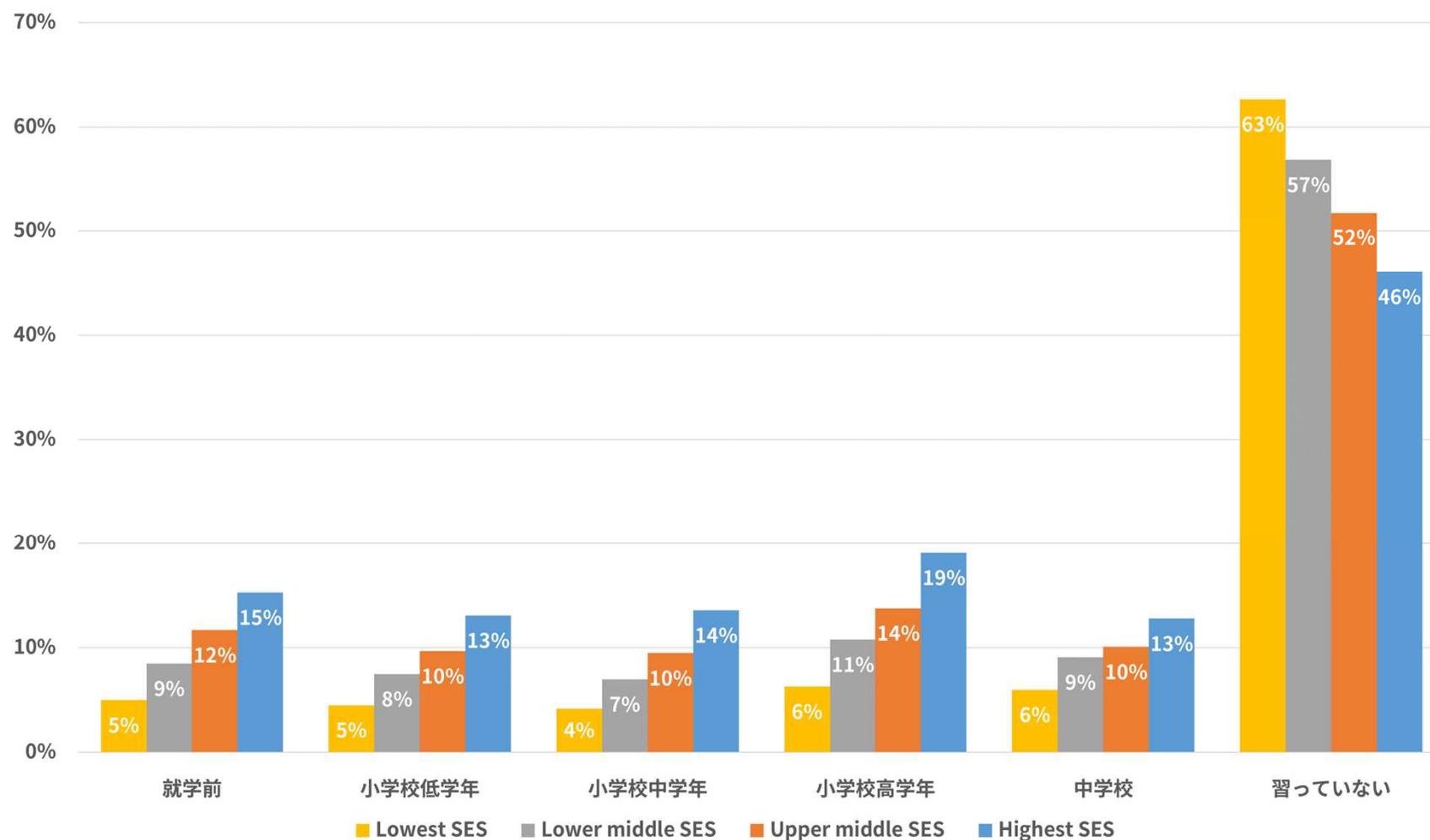


出典：お茶の水女子大学「平成29年度学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」（2018年3月）

家庭背景と習い事の経験の関連

英語に関する習い事（英会話教室など）とSESの関連

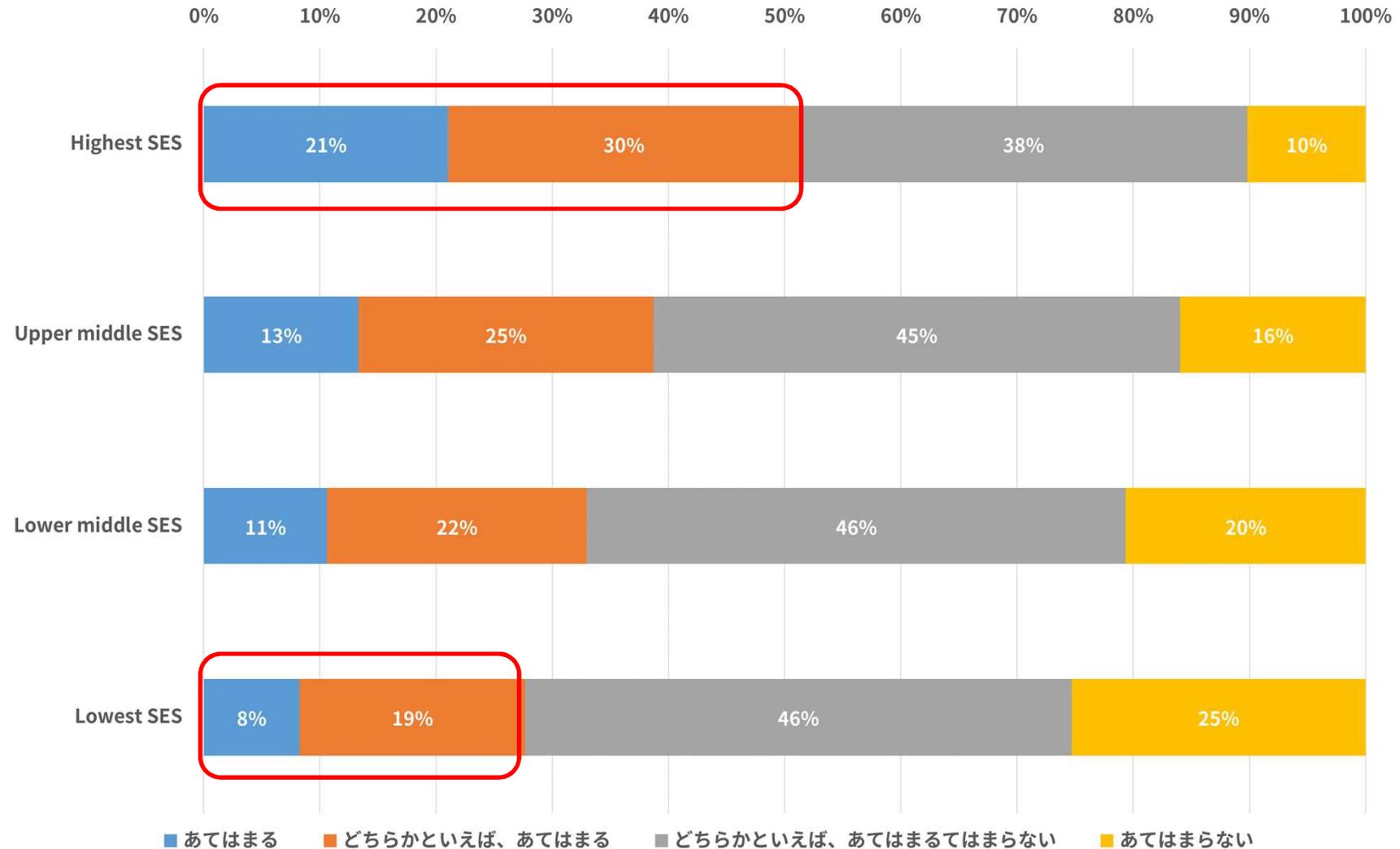
(中3)



出典: お茶の水女子大学「平成29年度学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」(2018年3月)

家庭背景と親の意識の関連

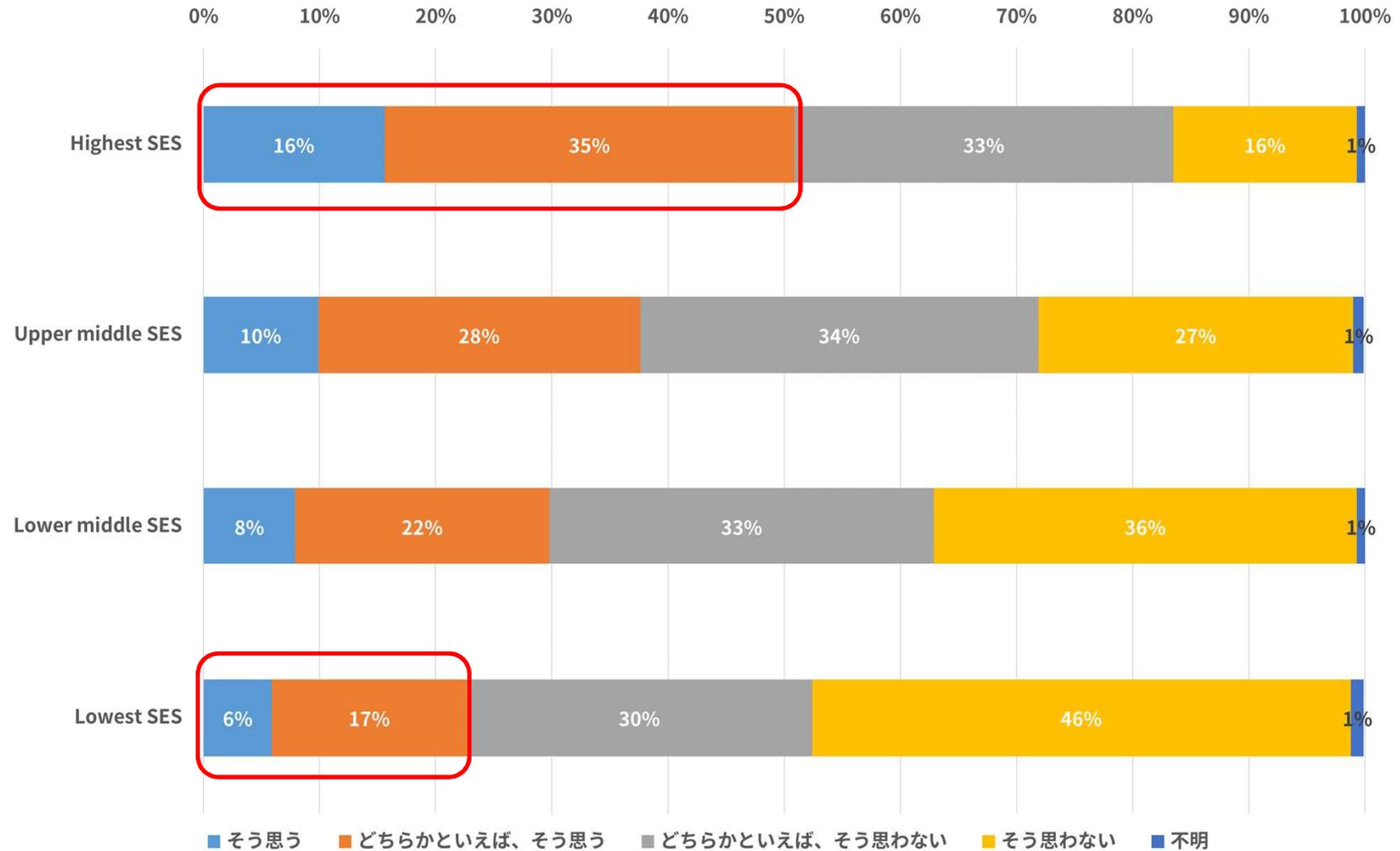
「お子さんが外国語や外国の文化に触れるよう意識している」とSESの関連（中3）



出典：お茶の水女子大学「平成29年度学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」（2018年3月）

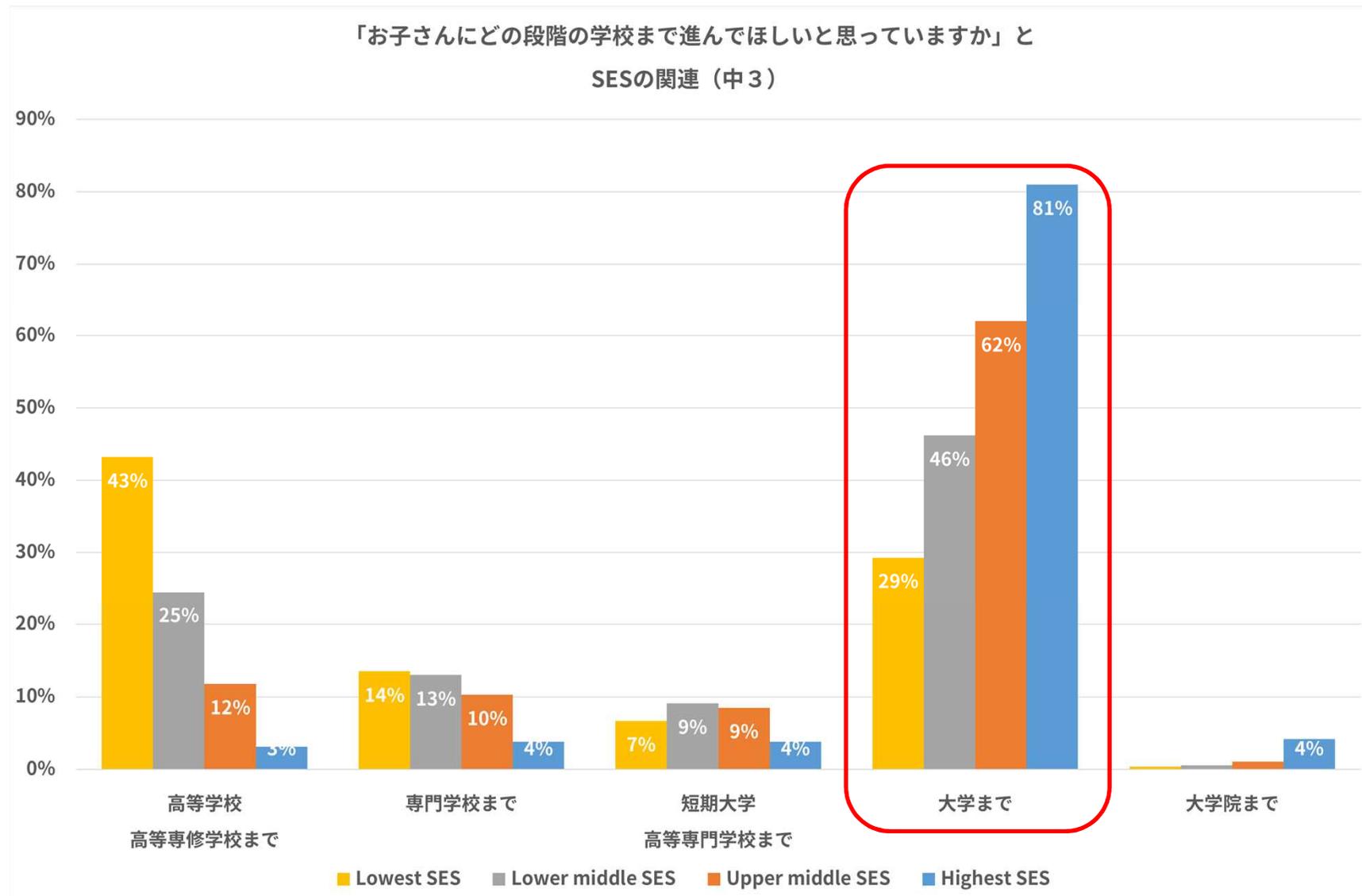
家庭背景と親の意識の関連

「お子さんに留学（海外学校への進学を含む）をしてほしいと思っていますか」とSESの関連（中3）



出典：お茶の水女子大学「平成29年度学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」（2018年3月）

家庭背景と親の意識の関連



出典:お茶の水女子大学「平成29年度学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」(2018年3月)

「意図的な養育」

(“Concerted Cultivation” Lareau, 2003, 2011)

- SESの高い親は、子どもの才能、態度、技能を積極的に育成し、評価する
 - 放課後時間の構造化(多種多様な習い事)
 - 言語活動・コミュニケーション能力の重視
 - 制度・組織への介入
- 多種多様な習い事
 - 技能の向上だけではない
 - 経験を通して、態度(粘り強さ、自己肯定感、意欲、コミュニケーション能力)の変化

PISA調査

- 3年に1回、OECDが実施
- 15歳児（日本では高1）対象
- 学力調査・生徒質問紙・学校質問紙（保護者調査は日本では実施されていない）
- 国際比較可能なデータ：多くの尺度がOECD諸国の平均値が0、標準偏差が1となるように標準化されている
- 家庭の社会経済的背景に関する尺度（ESCS）：
 - 保護者の学歴
 - 保護者の職業（地位：ISEI）
 - 家庭の所有物・家財の数・本の冊数

家庭背景と意欲(高1)

ST182 作業の熟達度合い

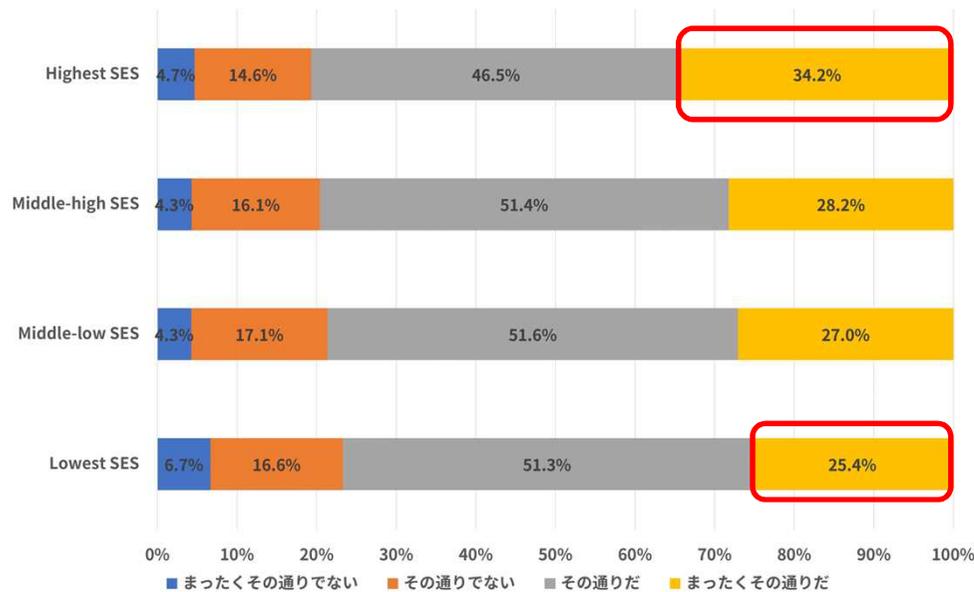
問45 次のようなことは、あなた自身にどのくらいあてはまりますか。
(1)~(4)のそれぞれについて、あてはまるものを一つ選んでください。

- ST182Q03 (1) 全力で取り組むことに満足を感じる
- ST182Q04 (2) 一度課題をやり始めたら、最後までやり遂げる
- ST182Q05 (3) 何かに取り組むことの楽しみの一つは、これまでの自分の成果を超えることである

	まったくその通りでない	その通りでない	その通りだ	まったくその通りだ
○ ₁	○ ₂	○ ₃	○ ₄	
○ ₁	○ ₂	○ ₃	○ ₄	
○ ₁	○ ₂	○ ₃	○ ₄	

(1) 全力で取り組むことに満足を感じる

意欲とSESの関連



家庭の経済的な条件等に左右されず 等しく「多面的な評価の機会」を得るために

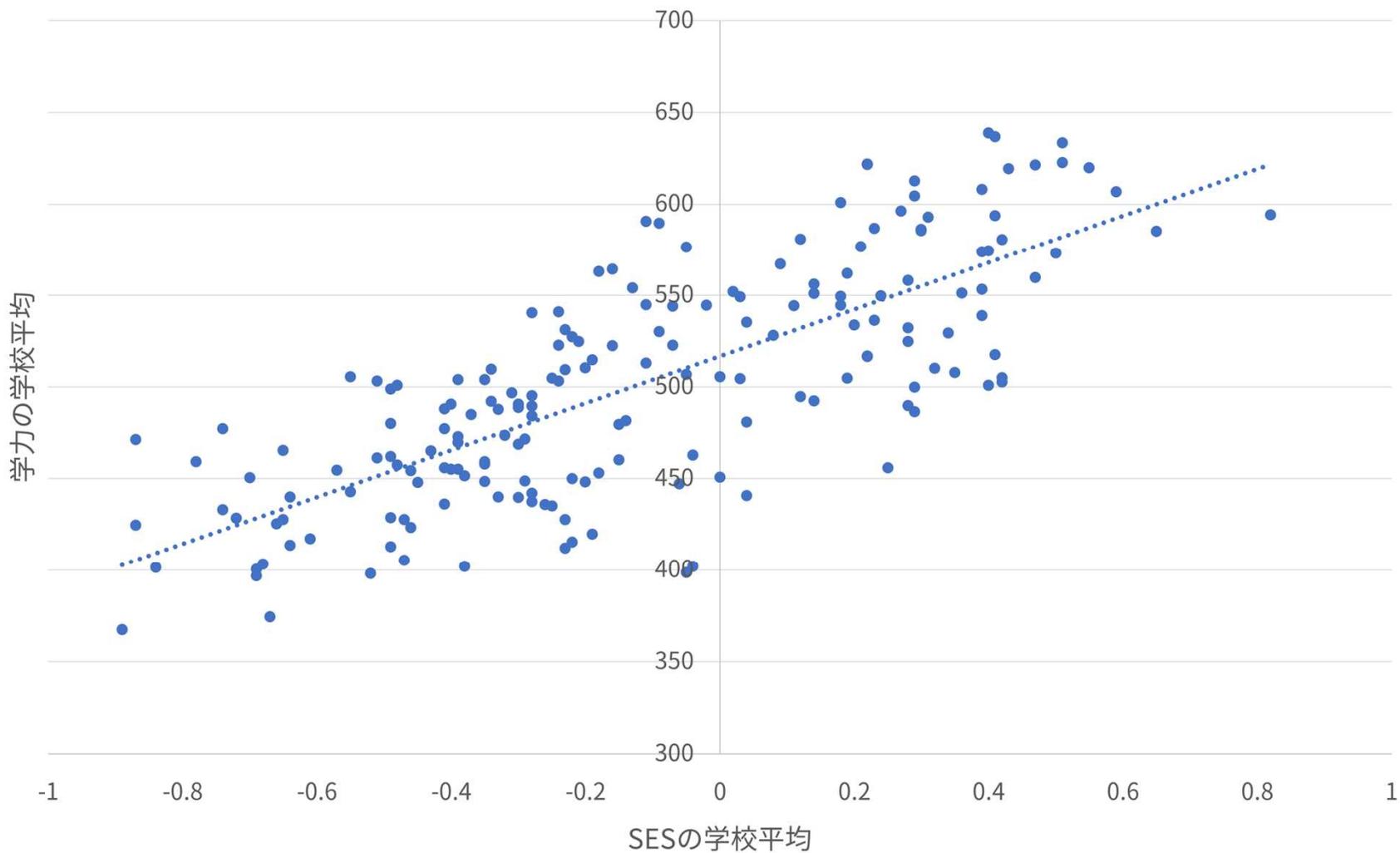
- 家庭背景(SES)により、生徒の学力のみならず、
習い事の経験に差異がある。
→多種多様な習い事は、粘り強さ、自己肯定感、意欲、コミュニケーション能力も育む。家庭の社会経済的背景が厳しい生徒は、主体性を育成する機会・環境が少ない。
- 家庭背景(SES)により、親の教育に対する意識や期待に差異がある。
→評価基準が多角的になると、準備への負荷が高まり、高SES層に有利になる。

家庭の経済的な条件等に左右されず 等しく「多面的な評価の機会」を得るために

- 「主体性」を評価する際には、家庭の社会経済的背景が厳しい層が排除されない仕組みが必要。
- 例えば：
 - 評価の際に、「家庭背景(例:就学支援金の受給の有無・ランク、ひとり親)」に関する項目を入れ、積極的是正措置(affirmative action)を導入する。
 - 「アルバイト」や「家庭への貢献(兄弟の世話など)」に関する項目を入れる。
- 家庭の社会経済的背景が厳しい生徒にも、開かれた入試であるための工夫が必要。

多様性という観点から： 高校における学校間格差

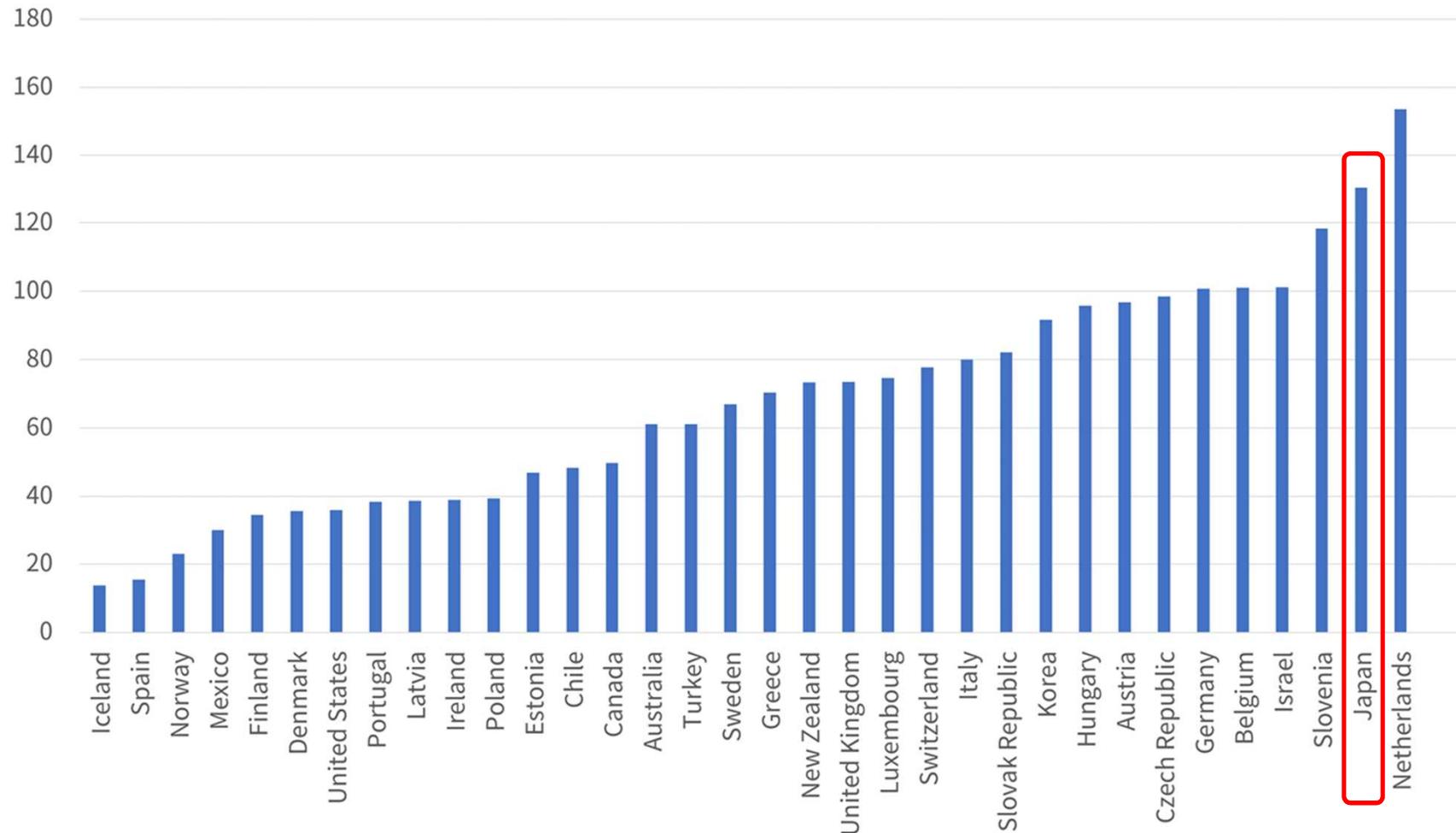
学校水準のSESと学力の関連（高1）



多様性という観点から： 高校における学校間格差

学校水準のSESと学力の関連の国際比較

(学校SESが1単位異なる学校間の平均学力（スコア）の差異)



出典：OECD, “PISA 2015 Results (Volume1): Excellence and Equity in Education” (2016) p.412より作成

多様性という観点から

- 高校においては、学力の分散の内学校間に占める割合が高い、学校のSESと学校の平均学力の関連が、国際比較すると非常に高い。
- 学校段階が上がるにつれ、学校内の類似性が高い、学校内の多様性が低い
- 「多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価→大学における多様性を確保する必要がある
- 家庭の社会経済的背景が厳しい生徒にも開かれた入試であるための工夫が必要